

新潟県剣道連会報

第 97 号

平成27年7月25日

発行

新潟県剣道連盟

事務局 〒950-0916
新潟市中央区米山5丁目1-25
小林ビル4階
TEL025-244-3481
FAX025-244-3482
http://niigata-kenren.com

27年度の初めに当たって

一般財団法人新潟県剣道連盟
代表理事 齋藤 榮



新剣連会員各位におかれましては健勝にてご活躍のことと思います。さて、新潟県剣道連

盟は一般財団法人として再出発して

ちようど一年となりました。お陰様で、各位の格別なるご理解ご協力のもとで順調に組織運営がなされると共に、対外活動に於いても、一般女子団体の全国優勝、少年女子団体の三位入賞と素晴らしい成績をあげております。誠にこの幸先よい航海も会員各位のご厚情の賜物であり、改めて深く感謝申し上げます。

さて今春の理事役員の改選にあたっては、組織運営の実務担当者に相応しい方を選出、ご推薦いただき誠にありがとうございました。さらに5月24日開催の評議員会で理事全員がご承認された後、役員選出規程により既に選出されていた代表理事（会長）、執行理事（副会長）に加え、理事会で互選された専務理事、常務理事を合わせた

27・28年度の新剣連の執行体制が全会一致で承認され、ここに新剣連は正式に始動したところであります。なお、新役員の体制の詳細は別表のとおりであります。

ところで現在、世界の政治状況の中で人々が大いに心配し関心を示しているものの一つに財政破たん直面しているギリシャ問題があります。

そのギリシャは西欧文明の故郷であり、なかでも政治哲学、とくに民主政治の揺籃の地であります。そのギリシャの政治思想の創始者プラトン曰く、「国家の統治者は国家の番人であり、自らの精神の水準を高めるを要す」（行政能力の水準でなく、知恵・勇氣・節制の心の総体的水準）。さらに責務は国家の共有財産を厚くし、国家存続が市民にとって共通の利益だと自覚できる制度を整えることにあるからと説いています。そんなことからギリシャ社会の現状を思うと、まことに「ああギリシャなるかな」の思いになるのですが、

実は国のみならず、人によって構成される諸団体に於いて最も肝要なことは良き統治者を得るにあります。しかも歴史的事実が示すようにそれが最も難しい仕事なのであります。

その文脈から言いますと、新剣連の理事役員は法人団体のまさしく統治者に当たります。従って、特に私共理事役員は「自らの精神の水準」に関心を抱き、その精神の向上に努めるべき地位にある番人の自覚が求められています。

それにしても幸いなことに、私どもは剣の道の愛好者であります。常に剣の理法の修練による人格の陶冶に努める者であることを自負しております。その意味でも、私共はプラトンの言葉に学んで、更なる精神の向上に努め、自らの責務を果たし、各位の期待に応えたいと自ら期待いたしております。どうぞ今後二年間、私共に格段のご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。

結びに、不祥事の処理と一般財団法人設立に多大な努力を長年に亘って傾注され貢献された多くの理事役員の方々が、この度任期を全うされ、退任されました。ここに新剣連を代表して

その労苦に深謝いたします。また、各位におかれましては剣の道に一層ご精進され、こよなく道を愛され道を楽しまれるよう祈念申し上げます。さらに、それが剣道を社会に広める確かな方途であることも付言し、年度始めに当たっての代表理事の挨拶といたします。

今回開催の評議員会は役員改選期に当たり、評議員会終了後に懇親会が開催されました。各支部選出の評議員と再任、新任の役員で終了時間まで今後の新剣連の発展のため懇親を深めることが出来ました。



懇親会の風景



新体制スタート

専務理事 久我 正作



平成27年5月24日、定例理事会・評議員会が開催され、新たな役員、理事を加えた新体制による（一財）新潟県剣道連盟がスタートしました。

昨年、前専務理事の後任として一年間新剣連の運営に携わったものの初めてのことが多くあり、戸惑うことも多々ありましたが、会員の皆様のご協力により何とか事業計画に基づく事業を実施し、初期の目的を達成することができました。

しかしながら事業を運営していく中、多くの問題にも直面いたしました。定款、規約の見直し、新剣連主催大会の活性化、剣道人口の減少、審判技能の向上、短・長期における全国規模大会に向けた強化方策、効果的な広報、県内各加盟団体との連携などなど新剣連の課題は山積しているというのが実感であります。こうした諸課題にひとつひとつ取り組みながら事業運営をしていきたいと考えておりますので会員皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



定例評議会

平成27年5月24日(日)11時5分から新潟県ホテル会議室において定例評議会を開催しました。

今回、規約の一部改正等ありました議長のスムーズな進行と評議員の真摯なご審議により全て議案が承認されました。

- 1 開会宣言
- 2 会長挨拶
会長 齋藤 榮
- 3 功労者表彰
小川梨々香
第44回全国中学校剣道大会
個人優勝の功労
大竹 真央
平成26年度全国高校定通大会
個人第3位の功労
遠山 正宣
全日本高齢者武道大会B組（65歳～69歳の部）個人優勝の功労
高橋 守
全日本高齢者武道大会A組（70～75歳の部）個人準優勝の功労
大西 伸和
居合道部会
第49回全国居合道大会
六段の部 個人準優勝の功労
議長選出
小千谷剣道連盟 藤田 豊
議事録署名人選出
五泉市剣道連盟 安達 敏正
西蒲剣道連盟 杉原 芳也

6 報告事項

- (1) 平成26年度事業について
- (2) 平成27年度事業計画について
久我専務理事
- (3) 平成26年度収支予算書について
松林常務理事
- (4) 規定の改正について
久我専務理事
- (1) (4) について承認可決
- 7 決議事項
(1) 平成26年度（損益計算書類）承認の件
松林常務理事
- (2) 理事及び監事の選任（案）について
久我専務理事
- (1) (2) について承認可決
- 8 臨時理事会の決議結果について
「会長等役員及び専務理事・常務理事」について結果の報告
木村 事務局長
承認
- 9 質疑
安達評議員
評議員会資料を事前に送付していた
だきたい
久我専務理事より今後検討する旨の
返答
- 10 議長退席
- 11 閉会挨拶



27・28年度役員

会長・副会長

- 会長 齋藤 榮（新発田市）
- 副会長 伊藤 文博（糸魚川）
- 副会長 草間 淳壹（三条）
- 副会長 帆苅 達郎（五泉市）
- 副会長・常務理事 荻莊 誠（亀田）

監事

- 監事 那須野求馬（新潟市）
- 監事 桑原 勉（長岡）

理事

- 専務理事 久我 正作（警察）
- 品田 峯雄（柏崎）
- 久保田幸正（上越市）
- 小川 清廣（上越市）
- 上谷 洋二（長岡）
- 細貝 秀幸（小千谷）
- 和田 正巳（三島）
- 長谷川達郎（中之島）
- 大岡 正弘（中条）
- 小林 匡（豊栄）
- 田代 信海（村松）
- 吉田 賢一（燕）
- 田沢 広一（小須戸）
- 岡崎 竹虎（横越）
- 内野 葉子（新潟市）
- 浜田 尚（新潟市）
- 高野 久雄（新潟市）
- 菊池 忠彦（佐渡市）
- 佐藤 好美（警察）
- 竹内 知宏（学校）

理事 今井 恒之（居合道）
理事 藤田 淳（中体連）
理事 堀 広輝（高体連）
理事 山田 義雄（審査員）

名誉会長・顧問・相談役・参与

名誉会長 毛島 勇（新潟市）
顧問 渡邊 幹雄（警察）
相談役 清水 勝（新潟市）
相談役 五十嵐安夫（長岡）
相談役 青山 勲（上越市）
相談役 中村 正紀（西蒲）
相談役 若林 秀旭（五泉市）
参与 荻莊 則幸（亀田）
参与 八木 和徳（新潟市）

事務局

事務局長 木村 嘉靖（警察）
事務局員 天井 俊明（五泉市）
事務局員 山口 雄三（新潟市）
事務職員 寺田 清美

剣道 審査員

審査員 宮下 茂（糸魚川）
審査員 七澤 伸一（糸魚川）
審査員 直原 幹（上越）
審査員 大濱 克（上越）
審査員 高嶋 純一（上越）
審査員 岡田 裕（柏崎）
審査員 渡邊 希一（柏崎）
審査員 和田 映（小千谷）
審査員 清水 龍（長岡）
審査員 柴田 直樹（長岡）
審査員 渡辺 久雄（長岡）
審査員 長谷川 敏（新発田）

居合道 審査員

審査員 鈴木 和彦（新発田）
審査員 藤井 紳一（五泉）
審査員 堀 伊佐緒（新潟）
審査員 山田 茂（新潟）
審査員 廣川 和男（新潟）
審査員 藤塚 衛（新潟）
審査員 吉田 仁（新潟）
審査員 山田 義雄（燕）
審査員 高橋 直志（学校）
審査員 加藤 治（学校）
審査員 遠山 正宣（警察）
審査員 望月 憲一（警察）
審査員 二平 正司（警察）
審査員 品田 峯雄（居合道部会）
審査員 大竹 春男（居合道部会）
審査員 吉田 哲夫（居合道部会）
審査員 田川 正幸（居合道部会）
審査員 上島 好文（居合道部会）
審査員 渡辺 尚久（居合道部会）
審査員 品田賢一郎（居合道部会）



専門部あいさつ

役員の改選に伴い、各専門部委員長よりご挨拶並びに豊富を述べていただきました。

専門部総務委員長

久保田幸正

素直な心

「コテ・メン・ドウ」「ヤー・トー」子供たちの元気のよいかけ声が道場いっぱいに響きます。「刀先を中心に。脇を締めて！」指導者の声。「ハイ！」子供たちの素直な返事。指導者も手本を示すべく気合いの入った動き。稽古の後には身も心も洗われるようなすがすがしい気持ちになります。

申し遅れましたが、このたび新潟県剣道連盟理事そして専門部総務委員長を仰せつかりました上越の久保田幸正です。子供たちの指導にかかわり、自分自身も身と心が洗われる気持ちで稽古に取り組んでいます。

新潟県剣道連盟も法人格を取得し二年目となります。法人化に向けては前理事の皆様が大変な苦勞をし、新生「一般財団法人新潟県剣道連盟」を立ち上げてこられました。この精神を受け継ぎ、第二の成長期にあたるこの連盟を素直な気持ちで、周りの意見を取りまとめ、今後運営にあたっていくたいと考えております。どうぞよろしくお願いたします。

審査・講習委員長

山田 義雄

このたびの改選により、審査員および講習担当理事として選任され重責を感じております。

幸いにも選考委員会の方で優秀な先生方を選出いただきましたので力強くも心強く感じております。前担当理事（小杉先生）との引継ぎを先般行い、あらためて先生のご苦勞が感じられました。精一杯の仕事をされ、その後を引き継ぐ私ははたしてできるのだろうかと心配になってきた次第です。当面は、先生のこの四年間の総括を分析しながら一歩ずつ仕事を進めていきたいと考えております。

審査員及び理事が一丸となって新剣連の重点目標である審査の厳正、適正、及び公正と公平をモットーに剣道のエキスパートとして自覚をし、職責を果たしたいと考えております。

事業・普及委員長

上谷 洋二

理事三年目に際し

去る5月24日の評議委員会に於いて理事に再任され、併せて事業普及委員長を拝命することとなり、その責任をひしひしと感じているところであります。

新生となった県剣道連盟、その行事のあり方についても多くの会員の皆様方の声を聞きながら、和やかな中にも

剣道の規律と厳しさを忘れず、新剣連の行事が盛大に運営できますよう、その裏方として委員の皆様の協力を得ながら2年間の責任を全うしたいと考えております。「和をもって尊しと成す」よろしくお願い申し上げます。

居合道・杖道部会委員長

今井 恒之

この度、居合道・杖道部会委員長を申しつかった居合道上越支部に所属する今井恒之です。宜しくお願い致します。

私は妙高市（旧新井市）において、剣道を始めましたが30代より居合道を主に修行しております。これまで県剣道連盟及び居合道部会の様々なお力添えをいただき感謝しております。

今回、委員長就任にあたっては、関係団体との情報を密にし、大会や講習会、選手強化の円滑な遂行を図って、部会員皆様より一層の活動のお手伝いが出来るよう尽力したいと思っております。

皆様のご協力とご鞭撻を宜しくお願い致します。

強化委員長

佐藤 好美

本年度から強化委員長を命ぜられた警察剣道連盟の佐藤好美です。

思い返せば、平成21年に本県で開催された二巡目国体の頃は、優勝しなけ

ればならないというプレッシャーに押しつぶされそうになったことを覚えています。

今回で2回目の強化委員長ですが、各種目とも和歌山国体での上位入賞を目指すことは勿論ですが、それだけではなく、各種大会で優秀な成績を残すことのみに固執せず、新潟県剣道連盟全体のレベル向上を図れるような施策を考えていきたいと思っております。

とりあえずは、毎月2回警察学校で、警察剣道連盟稽古会との合同練習を計画しております。大勢の方から参加していただき国体出場選手を盛り上げて頂きたいと思っております。皆様のご理解と御支援をお願い致しまして強化委員長就任の挨拶と致します。

広報委員長

大図 正弘

広報委員長再任となり、二期目を迎えることとなりました。今後は一期目の反省を踏まえ、よりよい広報誌にしていきたいと思っております。

そのためには支部及び会員皆様よりの記事や写真等お願いする機会もあるかと思ひます。その際には何卒ご協力宜しくお願い致します。



功 労 者 表 彰

功労者表彰の3名の方々から謝辞をいただきました。

遠山 正宣

警察剣道連盟

全日本高齢者武道大会B組（65歳～69歳の部）個人優勝の功労

5月24日、一般財団法人新潟県剣道連盟評議会席上において、平成26年度剣道功労賞を拝受いたしました。心からお礼を申し上げます。

日頃、連盟の諸先生方や剣友の皆様にご指導いただいたお陰と感謝しております。幸い健康に恵まれております。これからも稽古会等へ積極的に参加し、自己研鑽は勿論のこと、微力ながら地



全日本高齢者武道大会表彰式に臨む遠山先生

写真提供 全日本剣道連盟

域の少年剣道の技能向上に協力して行く所存であります。新剣連の益々の発展を祈念申しあげます。

高橋 守

上越市剣道連盟

全日本高齢者武道大会A組（70～75歳の部）個人準優勝の功労

この度は、平成26年度剣道功労賞を頂き誠に有り難うございました。身に余る光栄に心から感謝申し上げます。

全日本高齢剣友会の初代会長、大隅信幸先生のお言葉「すべからく老いは剣を持って迎え打つべし」を座右の銘とし、生涯剣道を楽しみ交剣知愛に努めると共に、今までと同様、青少年の育成、拡大に尽力し、ご恩に報いて参ります。

— 立ち合いの間

攻めに満ちる

淑気かなー

大西 伸和

居合道部会

第49回全国居合道大会
六段の部 個人準優勝の功労

この度、一般財団法人新潟県剣道連盟より表彰いただきましたことに心より感謝申し上げます。

昨年福島市で行われました全国居合道大会では六段の部で二位となることができました。これもひとえに先生方からいただいたご指導と支えて下さった

皆様のお陰と厚く御礼申し上げます。
今回の結果に甘んずることなくさらに
修練を重ね貢献出来るよう力を尽くして
行く所存です。今後ともご指導ご鞭撻を
賜りますようお願い申し上げます。

大会 結果報告

その他の大会は
新剣連ホームページを
ご覧下さい

第63回全国都道府県対抗剣道 優勝大会観戦記

平成27年4月29日（水・祝）

大阪市中央体育館で開催されました。本県チームは、一回戦、強豪愛知県チームと対戦し2対4で敗退しました。試合状況は次のとおりでしたので報告します。

・先鋒戦（皆川）

小柄ではあるが、足を使い相手の攻めを捌きながら落ち着いた試合運びをするも、小手を打ち足が止まった所に面を打たれてしまい一本負け。

・次鋒戦（吉田）

先鋒戦を落とし、出ばなをくじかれた形となったが、独特の間合い、どこからでも打てる吉田は、相手にペース

を握らせることなく居着いたところをすかさず面一本。二本目開始早々に小手を決め勝負有り。

・五将戦（木村）

勝者を五分に戻し、ポイントゲッターの木村。落ち着いて相手を観察し、つばぜり合いからの分かれ際、相手の足が止まったところを引き面一本。二本目も守りに入ることもなく相手の手元が上がったところに小手を合わせ二本勝ち。

・中堅戦（高橋）

どんどん相手に攻め込むのが特徴の高橋。この試合も積極的に攻め、惜しい技を出すもなかなか有効打が無く、一瞬出遅れ居着いたところに面を打たれ一本負け。

・三将戦（赤塚）

二年前に同大会で対戦し、リベンジを誓う赤塚だが、相手の勢いに足が止まり見てしまったところを面をとられ、二本目も一本を取りに行ったところを返し胴を取られ二本負け。

・副将戦（片野）

負ければチームが負けてしまうという緊張感のある副将戦。上段から恐れることなく果敢に攻めるも有効打がないまま引き分け。

・大将戦（直原）

勝負は大将戦。一本勝ちで代表戦。なんととしても一本取りたい所。高段者らしく緊張感のある攻め合い。そこから思い切りの良い技を出す、相手はそこに合わせ、出小手を取られ後が無くなった。取りに行くしかない直原先生を裏目に、攻め合いから一瞬見てし

まった所を逆に面を取られ二本負け。

強化委員長 佐藤 好美

第7回全日本都道府県対抗 女子剣道優勝大会

7月18日(土) 日本武道館
2回戦 新潟0(0)ー1(2)群馬
1回戦シードの新潟は群馬に惜敗
詳細は、次号にてご報告いたします。

今後の予定（県内）

昇段審査会（初段～五段） 8月2日(日)（上越）
昇段審査会（初段～四段） 8月9日(日)（十日町）
昇段審査会（初段～五段） 8月9日(日)（阿賀野）
昇段審査会（初段～四段） 8月10日(月)（新潟）
昇段審査会（初段～五段） 8月16日(日)（三島）
第40回新潟県少年少女剣道大会 8月23日(日)（新潟市）
県選手権大会・全日本選手権予選 8月30日(日)（妙高）
・高段者大会
〈9月〉
昇段審査会（初段～四段） 9月6日(日)（警察）
北信越合同稽古会 9月12日(土)（上越市）
居合道公認審判認定審査会 9月13日(日)（新潟市）
県スポーツフェスティバル

壮年剣道大会・ねんりんピック
同日・同会場開催

9月19日(土)（五泉市）

中山博道旗争奪剣道大会

9月20日(日)（分水）

全会津親善剣道大会

9月20日(日)（新潟）

第54回新潟県居合道大会

9月20日(日)（柏崎市）

角田山旗争奪剣道大会

9月23日(水・祝)（西蒲）

〈10月〉

全剣連後援剣道指導者講習会

（初日）

審査員対象 10月17日(土)

（二日目）

対象者無制限10月18日(日)（新潟市）

第63回新潟県剣道大会

10月25日(日)（白根）

〈11月〉

昇段審査会（初段～四段）・公認審判講習会 11月1日(日)（佐渡）

昇段審査会（初段～四段） 11月1日(日)（三条）

小須戸剣道大会

11月3日(火・祝)（小須戸）

新発田剣道優勝大会

11月22日(日)（新発田）

新潟県実業団剣道大会

11月22日(日)（新潟）

〈12月〉

昇段審査会（初段～四段） 12月13日(日)（長岡）

昇段審査会（初段～四段） 12月20日(日)（新発田）

新潟県女子剣道講習会を終えて

教士七段 内野 葉子

昨年の長岡から新潟に会場を移し、十回目の女子講習会を実施し、例年を上回る四十五人の参加をいただきました。今年は新しい試みとして「剣道のための体づくり」というテーマで外部講師をお招きして怪我を予防し、剣道のパフォーマンスを向上させるためのスト

レッチを教えていただきました。頭のてっぺんから足の先まできめ細かなケアの仕方を丁寧に教えていただきました。かり体がほぐれ、審判実技や稽古ではいつも以上に良い動きが見られました。年に一度ですが、県内の女子の剣道愛好家の皆様と剣を交え、今後ますますの女子剣道の普及発展を確信しました。今後は定期的な女子稽古会の開催をとの要望もありましたので実現に向け検討していきたいと考えています。

女子剣道講習会 ミニアルバム



6月27日(土) 鳥屋野体育館武道場にて

地域通信

新潟県高齢剣友会

第四土曜日稽古会のご案内

新潟県剣道連盟加入者の皆さまにおかれましては、お変わりなくご精武のこととお喜び申し上げます。また当剣友会に深いご理解ご協力を賜り心から御礼申し上げます。

さて、私達高齢剣友会では、毎月第四土曜日に「第四土曜日稽古会」と名うって、教士八段の先生方から昇段審査に向けた指導と、「交剣知愛」を目標とした稽古会を行っております。

この稽古会には、老若男女を問わず、また、段位に関係なく、参加していただき、お互いに切磋琢磨して稽古を楽しんでいただいております。

昨年は310名の会員及び会員以外の方から参加していただき、大変楽しい稽古会が行われました。

一人でも多くの方から参加していただけますよう、会員一同心からお待ちしておりますので、ご案内申し上げます。

会場 〒955-0083

三条市荒町二ー一八

三条体育文化センター

☎0256・32・5211

日程等 毎月第四土曜日

午後二時から四時

参加料 毎回500円

担当 新潟県高齢剣友会理事

小柳 政栄

受付 090・5336・2387

原稿募集

広報委員会では、地域通信・短信のコーナーの原稿を募集しています。

支部同士での合宿交流や稽古会、練習試合、地域に根ざした伝統の大会など、活動状況などをお送り下さい。

新潟県剣道連盟のQRコードです。ご利用ください。



編集後記

暑い日が続いていますが、会員の皆様におかれましては稽古中の熱中症には十分ご注意ください。

さて今年度より下越地区選出副会長の帆刈副会長が広報委員会担当になりました。さらに委員1名増員となりました。今後さらに会員皆様のための広報誌として充実した誌面になるよう努力いたします。今号発行にあたり原稿をお願いした方々には快くお引き受け戴き、誌上をお借りして御礼申し上げます。支部単位や会員皆様からの掲載希望記事などございましたら広報委員又は剣連事務局までお知らせください。お待ちしております。

(大図)

